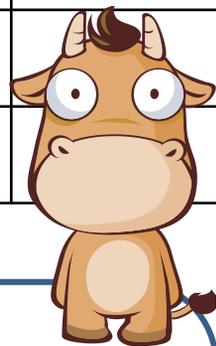


# 牛流行熱の発生について(注意喚起)

9月上旬から10月初旬にかけて、沖縄県及び鹿児島県で、牛流行熱の発生がありました。

中国や台湾などでは、毎年のように流行が報告されており、日本への侵入リスクは、これまで以上に高まっていると考えられます。

地名	発生状況			発症	症状	備考	
鹿児島県	1	肉用繁殖	1戸1頭	黒毛和種繁殖牛	10/5～	食欲不振、起立意欲低下、水様性鼻汁	同居牛に類似症状あり
	2	肉用繁殖	1戸1頭	黒毛和種繁殖牛	10/7～	食欲不振、軽度流涎、水様性鼻汁	
	3	肉用繁殖	1戸6頭	黒毛和種繁殖牛5 育成牛1	8/7～	発熱、元気消失、食欲不振等	
	4	肉用繁殖	1戸2頭	黒毛和種繁殖牛2	9/7～	発熱、元気消失、食欲不振等	
	5	肉用繁殖	1戸5頭	黒毛和種繁殖牛5	9/22	発熱、元気消失、食欲不振等	
	6	肉用繁殖	1戸1頭	黒毛和種繁殖牛	10/6～	発熱、元気消失、食欲不振等	
沖縄県	7	肉用繁殖	3戸4頭	黒毛和種繁殖牛4	9/15～	発熱、起立困難、跛行	



## 牛流行熱(届出伝染病)とは

<原因> 牛流行熱ウイルス

<疫学> 台湾、中国、韓国、オーストラリア、アフリカ諸国などで発生。

ウイルスは蚊やヌカカによって媒介され、発生に季節性(主に8月～11月)があります。死亡率は1%以下。

<症状> 突発的な発熱(41～42℃)、多くはその後1～2日程度で回復します。

呼吸速迫、元気消失、食欲不振、水様性鼻汁、関節炎による跛行、起立不能など症状を呈します。

<予防> 流行が始まる前に、ワクチン接種を完了させておきます。

上記のような異常を認めた場合は、すぐに家畜保健衛生所へ連絡してください。

**0574-25-3111**

●閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてくださいつながらない場合は **0574-25-3484**  
土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けます。